

特別支援学級E組について

(1) 学級名 E組 固定学級 [特別支援学級 (自閉症・情緒障害)]

(2) 開設 平成27年4月1日

(3) E組教育目標

自立と社会参加を目指して

- ・積極的に学習に取り組み、自ら学ぶ力を育てる。
- ・情緒の安定を図り、豊かな人間性や社会性を育て、自立する力を養う。
- ・コミュニケーションの基本的能力を育て、他者との関わる力や集団に参加する力を高める。

(4) 学級規模

【学級数】 4学級 *生徒8名で1学級

【教員数】 担任 6名 介助員 4名

【生徒数】

	1年	2年	3年	計
男	9	9	6	24
女	1	2	3	6
計	10	11	9	30

令和7年4月1日現在

(5) 施設 教室・・・3 学習室・・・3

(6) 対象 ○知的な障害はなく、自閉症又はそれに類するもので、他人との意思疎通及び対人関係の形成が困難である生徒。

○主として心理的要因による選択性緘黙があるもので、社会生活への適応が困難である生徒。

*以上の生徒のうち、少人数や個別指導の指導形態で、集中的な教育を受けることで教科等の学習や自立活動等の指導において成果が期待できる生徒、かつ、個別支援委員会で入級を認められた生徒とする。

(7) 学区域・通学方法

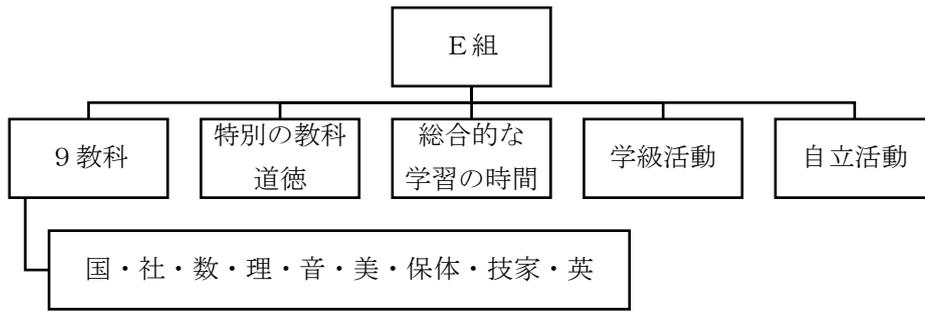
・市内全域 *市内に1校のため

・通学方法は、スクールバスの利用も可能ですが、一人で登校できることが自立の内の1つと考え、バスや電車等の公共交通機関、徒歩を原則としています。

(8) 一日の基本的な学校生活について

朝と帰りの学活と給食、道徳、学級活動、総合的な学習の時間、自立活動は基本的にE組で行います。9教科の授業は、交流学級での授業、E組内での授業(少人数等)によって行います。

(9) 学習内容について



通常の学級と同じ教科（9教科）・領域（道徳・総合・学級活動）を学習します。授業内容・教材は基本的に通常の学級と同じです。その他に「自立活動」という通常の学級にない授業があります。

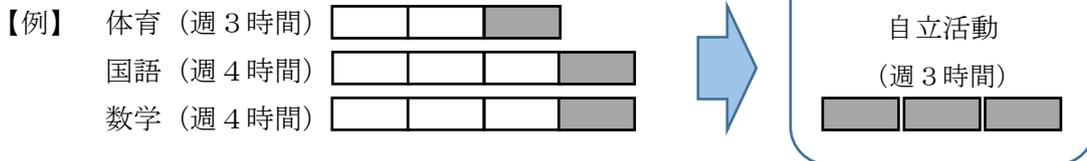
(10) 自立活動について

自立活動とは、障害による学習上または生活上の困難を改善・克服し、自立し社会参加する資質を養うための指導の領域です。「健康の保持」、「心理的な安定」、「環境の把握」、「身体の動き」、「人間関係の形成」、「コミュニケーション」の6区分27項目から必要な内容を選択し指導しています。

特にE組では、「情緒の安定」、「コミュニケーション能力の向上」、「自他の理解」、「感情や行動のコントロール」等、自分の言動をコントロールしながら安定した気持ちで日々の生活を送り、他者との関係を築いていくための様々な学習を行います。その他、一人一人の課題に応じた教科学習を行うことがあります。

自立活動は小集団等、生徒の状況に応じて計画を立てて実施しています。

自立活動で年間105時間（週3時間）設けているため、各教科や道徳、総合的な学習の時間等の授業時数が通常の学級よりも少なくなります。そのため、交流で受けることになっている教科でも、交流に参加できない時間が出てくることもあります。



(11) 通常の学級との交流について

- ・交流は、自立活動で身に付けた対人関係に関する能力等を通常の学級の中で発揮し、さらに向上させることを目的に行われます。
- ・年度当初に交流学級を設定し、各教科の授業や行事を通じて交流を図ります。
- ・交流授業は、保護者や生徒の願い、生徒の状態や課題に応じて設定し、時間割を決定します。
- ・朝礼や学年集会、行事、部活動においても交流を図ります。
- ・行事は通常の学級に準じて行います。交流学級を通じての行事参加を主としますが、生徒の特性や状態に応じて、参加の有無や形態を検討しています。

(12) 成績について

定期テスト

- ・通常の学級と同じ内容のテストをE組で受けます。
- ・テストの受け方に関しては、特別な配慮がなされる場合があります。

評価・評定

- ・学校が定めている評価基準に照らし、観点別学習状況の評価（A, B, C）と評定（5, 4, 3, 2, 1）を行います。

(13) 中学校卒業後の進路について

通常の学級と同様に進路指導を進めています。都立・私立の教育的配慮の充実した学校（普通科等）や通信制サポート校の学校を選択する傾向があります。

(14) 部活動について

- ・ E組の生徒も通常の学級の生徒と同様に部活動に参加できます。

部活動への参加は、E組の教員の付き添いなく参加できることが前提となります。

- ・ 新たに部活動に入部するにあたって、E組ではトライアル期間を設定しています。

仮入部期間終了後、入部届提出日（今年度は4月25日）までに入部届を出し、E組教員で預かり、その後、1ヶ月程度（今年度は5月23日まで）をトライアル期間とし、部活動に参加（土日の活動があれば参加する）し、本人、保護者、E組教員、部活動顧問で、「今後も活動ができそうだ」という判断ができた場合、預かっていた入部届を部活動顧問に提出し、正式に入部となります。

(15) 学校・学級の教育目標を達成するための基本方針（令和7年度 教育課程届より）

国分寺市「すべての人を大切にするまち宣言」及び第3次国分寺市教育ビジョンにおける「誰もが幸せな未来を描くまち、人と人がつながるまち、学びが循環するまち 国分寺」を踏まえ、Society5.0時代を見据えた教育活動を行い、教育目標実現のため以下の内容の実現を目指します。

- ①保護者や関係機関との連携を密にして、生徒一人一人の障害特性を的確に把握し、学校生活支援シート及び個別指導計画に基づいたきめ細かな指導を展開します。
- ②定期的にケース会議を開き、個々の生徒の実態把握を行い、課題に応じた支援及び指導の工夫・改善を行います。
- ③3年間を見通し、各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等について通常の学級との交流を積極的に進め、コミュニケーション能力を育むとともに、社会人としてより豊かな生活を営む上で必要な知識・技能、責任感を身に付けさせます。
- ④心身の健康への意識を高め、基本的な生活習慣を確立させ、情緒の安定や自己肯定感の向上を図り、生き生きとした明るい生活態度を育てます。
- ⑤共生社会の形成に向け、意図的・計画的に人権教育を推進するとともに、通常の学級に在籍する生徒との交流を積極的に行い、互いの良さを認め合う関わりを進めます。
- ⑥安全指導を充実させ、日常生活の中での危険や緊急時に、正しく判断して行動できる知識や力を身に付けさせます。
- ⑦生徒指導提要の趣旨を踏まえ、様々な教育活動を通して自己指導能力を育成します。